

## 大同機械製造株式会社

# 粘性液体用ポンプで大手顧客から評価

——培ってきた実績こそが自社の最大の強み

### 記者の目



- ▶ ポンプ技術であらゆる液体に挑戦する
- ▶ 賞与は年2～3回、旅行をはじめ福利厚生も充実

### ポンプで社会貢献を果たす

大同機械製造は1947年創業で、「内転歯車ポンプのパイオニア」、そして「流体のスペシャリスト」として、世界中のさまざまな産業分野に革新と信頼を送り出し続けてきた。具体的には、内転歯車ポンプの製作から始め、改良を重ねて新機種を開発し、「大同内転歯車ポンプ」のブランドで石油化学や医薬品、食品など各種産業分野の液体移送で数多くの納入実績を積み重ねている。大同内転歯車ポンプのほかにも往復動式真空ポンプ、ペーンポンプ、ローブポンプの製造・販売も手がける。いずれも顧客の要望に応じた最適なポンプを提案している。

2017年、4代目トップに就いた大田龍一郎社長は「当社は特殊なポンプに強みがある」と強調する。ポンプ市場は約9割が水ポンプと



代表取締役社長  
大田 龍一郎さん

されるが、同社が狙うのはそれ以外の1割となるニッチ分野だ。「粘度のある液体を送るポンプ」と、大田社長は照準とするポンプを説明する。粘性液体はオイル、樹脂、塗料、ゴム原料、粘着剤のほか、チョコレートといった食品関連などもあり幅広い。種類ごとに粘度も異なるそれらの材料には、容積の変化具合を利用して流量を調整する容積式ポンプが必須、中でも同社は内転歯車ポンプの専門メーカーとして強みを持つ。

すべて受注生産で手がけるポンプは約500種類に及ぶ。「誇れることは培ってきた実績」と大田社長。国内納入先に一部上場会社が多いのは、技術と信頼性への評価の表れだ。

大田社長は「プラントに粘性液体をポンプで送ることはモノづくりの観点からも重要になる」とするが、粘性液体の種類自体は、それこそ星の数ほどある。そのさまざまな液体に挑戦し、成果、実績を重ねてきた。「中小企業だが、社会的責任、世の中への貢献度は非常に高いと自負している」と大田社長は力を込める。

### サービス対応の充実にも活路

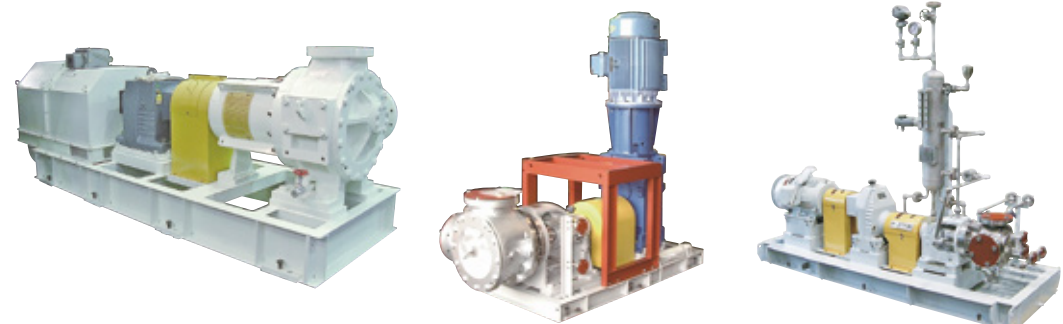
ニッチ分野の製品だけに、アフターサービスにも力を入れるのが同社の特徴だ。海外勢を含む他社製品の修繕も請け負っており、メンテナンスを請け負った上で、改善して顧客に届けることをモッ

トーにしている。サービス担当者は専任で3人を配置し、必要であれば全国に派遣できる体制を敷いている。海外向けも中国・上海に現地法人を持つほか、代理店も多数を抱えており、きめ細かいサービスを誇る。

こうした各種ポンプの製品・サービスを支えるのが、同社の人材だ。大田社長は「景気によって左右されるが、基本的には年2～3回の賞与を支給している」と話す。黒字の時は「決算賞与」として、年度末の3月に支給することもあるという。

また福利厚生も充実しており、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で見送ったが、例年は年1回の従業員向けの旅行を実施している。従業員は月1,000円ずつを積み立てるが、それ以外の費用は会社負担で、金曜から日曜の2泊3日で行くことが多いという。その場合の金曜は一斉休業になる。過去には海外旅行もあり、「どうしても飛行機に乗るのが怖い人や介護など家庭の事情がある人を除き、参加率は9割程度」（大田社長）と、全従業員が楽しみにする一大イベントだ。その他にも従業員向けの会食会なども実施している。

大田社長は「理系出身社員に求めるのは『正確性、スピード、発想力、チャレンジ精神』、従業員全体に共通して求めるのは『素直さ』」と強調する。ただ「チャレンジとひと口に言っても、『失敗



電動機側防音カバー取り付け

減速機は省スペースタイプ

API682/PLAN53A リザーバータンク付

しても良いから』というのはなかなか難しいこと」とも指摘する。評価は、年2回のコーチングにより、成果報酬の制度を導入している。19年からは総額100万円の

枠で社長賞も創設。従業員のモチベーションを高める取り組みに余念がない。今後は、グローバルに活躍できる人材の育成に力を入れる。IoT

(モノのインターネット)、AI(人工知能)なども積極的に活用し、新製品開発、生産技術の向上につなげる考えだ。

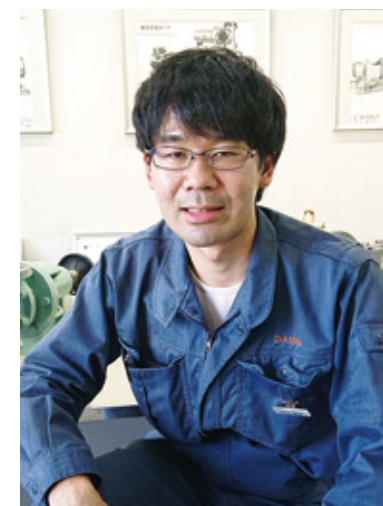
### 理系出身の若手社員に聞く

## 自分で図面を描いたポンプが完成品になり、形として残るのは感慨深いです

技術部 設計課 小川 隼平さん (2014年入社)

主にポンプの図面作成に携わっています。お客様の配管や施工に必要な寸法を記載したり、ポンプの部品構成を盛り込んだ断面図も作成します。図面は、ポンプの修理の際にも必要になるとても重要なものです。

入社を決めたのは、モノづくり企業として技術力があり、社会に役立つ仕事ができる点が魅力でした。自分で図面を描いたポンプが完成品になり、形として残るのは感慨深いもので、さらにモチベーションも高まります。当社には仕事に打ち込める社内環境があります。19年には社長賞も受賞し、ますます頑張ろうという思いを強めています。



### 会社DATA

本社所在地：大阪府高槻市深沢町1-26-26

設立：1964年6月

代表者：代表取締役社長 大田 龍一郎

資本金：5200万円

従業員数：62名

事業内容：化学薬液、高粘性液、高低温液、食品関係、石油関係(LPG)用向けの内転歯車ポンプの製造・販売など

URL：http://daidopmp.co.jp/

